

療考会ニュース

福岡市地域療育を考える会事務局発行



南部療育センター(仮称)いよいよ建設工事へ 2025年(令和7年)4月開園予定

7/26に福岡市役所にて療育センター担当者様と実施設計の打合せを行いました。

現在、福岡市では福岡市南部地域に障がい児療育の中核施設となる南部療育センター(仮称)建設のため整備が進められています。福岡市のホームページにも情報が掲載されていますので興味のある方はぜひご参照ください。

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/kodomo-mirai/shogaijishien/child/00002.html>

私たち療考会は、あゆみ学園(昭和48年開設)の老朽化・狭あい化をきっかけに、通園する方の声を取りまとめ、市議の方との意見交換や現地視察などの活動を経て、南部療育センターの新設要望書や追加要望書の提出といった働きかけを行ってきました。地道な活動が実を結び、開設に向けて動き出した後も会員から広く意見を募り、通園する子どもたちにとってより良い療育環境が構築されるよう、積極的に提案するため打合せなどに参加させていただいています。

南区の市議会議員へ相談
あゆみ学園アンケート実施
市長宛に新設要望書を提出

2018



あゆみ学園を訪問視察
市議へ政策要求の依頼
福岡市こども未来局へ進捗確認

市より[福岡市南部地域療育
環境整備基本構想(案)]発表

2020

設立についての
要望書提出

第2回打合せ
基本計画の発表
追加要望書提出

2022

第3回打合せ
実施計画発表

2023

建物完成
開園予定

2025



今回の打合せでは福岡市こども未来局よりこども発達支援課長、同課療育環境整備主査、同課療育環境整備担当の方、療考会からは事務局会長、ニュース係、そして昨年度追加要望書を提出した事務局顧問が参加いたしました。

はじめに写真と図面を見ながら実施設計を説明いただき、その後質疑応答を行いました。施設を利用するこどもたちや保護者の方のために、要望書の内容を最大限に取り入れた形の実施設計となっていました。

療考会より提出した要望書の項目と実施設計の内容をまとめた表が以下になります。

項目	要望	実施設計
おむつ替えスペース	<ul style="list-style-type: none"> ・南部あゆみ学園と同様のものを設置してほしい ・つかまり立ちでおむつ交換できる台がほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・あゆみ学園と同様のものを設置予定 ・立たせるタイプの台は設置するものと備品として可動式のを準備予定
手洗い場	<ul style="list-style-type: none"> ・手動ボタンと自動感知/水・温水を選べる水栓がよい ・手洗いのときの体勢は様々なので、(抱っこ/座位保持椅子/立位など)洗面台の高さをそれぞれ異なる高さにしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い室とバリアフリートイレの水栓については要望通りのものを設置予定 ・洗面台が3個並んでいる所は2個は高く(約70cm)1個は低く(約45cm)し、2個の所は1個ずつ高さをかえています
階段	<ul style="list-style-type: none"> ・階段昇降が楽しくなるように数字や絵があったり、音が鳴ったりするとうれしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全上設置予定なし 基本的に先生が付き添って階段を一緒にのぼるため安全上の理由で遊んで転ぶなどの危険は避けたい
保護者控室の和室	<ul style="list-style-type: none"> ・押入れを設けてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・設置予定
療育用プール・更衣室	<ul style="list-style-type: none"> ・座位が安定していないこどもはシャワーチェアなどの椅子があると着替えやすい ・ユニバーサルベッドも必要 ・療育用プールにすべり台などの遊べるものがほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルベッド・シャワーチェアを準備予定 ・療育の訓練で一年中使うプールはこどもが集中して身体を動かす必要があるためすべり台の設置予定はなし
カームダウンスペース・ケアスペース	<ul style="list-style-type: none"> ・カームダウンスペースがあるとよい ・吸引などの医療的ケアを行う時に医務室までの移動をしなくても医療的ケアが行えるようなケアスペースがあるとよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・可動式の吸音パーテーションを利用の状況に応じて準備 ・ケアスペースも同様
荷物置き場(親子ロッカー)	<ul style="list-style-type: none"> ・親子ロッカーを二組の親子で半分に分けて上下で使いたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・二段式の親子それぞれの荷物が入れられるロッカーを設置予定
貴重品ロッカー	<ul style="list-style-type: none"> ・財布やスマホ、鍵などが入るような貴重品ロッカーをつくってほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・プール室側に貴重品ロッカーを設置予定
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすを置けるスペースがほしい ・雨の日は子どもを抱えて傘をささず濡れながらの介助になるので駐車場から施設まで屋根付きがよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・車いす用の駐車スペースあり ・車いす用や園バスの駐車場も含めて屋根付き

会議の中では市役所の方達の療育に対する想いや、いま新しく取り組んでいらっしゃる保育所内の一室を使っの児童発達支援事業所のモデル事業、子育て支援のことなど多岐にわたってお話を聞かせていただきました。

今回もこのような機会を設けてくださったこども発達支援課の皆様へ感謝申し上げます。